

子どもの育ちは一人ひとり違うからこそ、子育てには、悩みや迷いも生まれます。
愛光大和田保育園では、沢山の子どもたちを見守ってきた経験を生かし、地域の子育てを応援しています。
お子さんと一緒に遊びに来たり、保育士と話したりしながら、ほっとひと息つける時間を過ごしてみませんか。
どうぞお気軽に遊びにいらしてください。

11月の保育園見学日

保育園入園を検討されている方へ、園内見学をして、園の雰囲気を感じて頂きながら、保育園のことについてお話いたします。

【本園・ちいさなおうち】
11月5日,18日　10:30-11:30
見学予約は右のQRコードから

【分園 アネックス】
11月16日, 20日, 26日　10:30-11:30
見学予約は右のQRコードから

※QRが読み取れない場合は「東京都保活ワンストップポータルサイト」からご予約ください。

育児講座や保育園体験などのご予約はこちら↓

右のQR又は公式LINEから。
公式LINEで来園スタンプを５つ集めると
保育園の美味しい給食体験プレゼント！

愛光大和田保育園公式LINE
月1.2回程度　園からのお知らせを配信します

保育園の給食レシピ

とうふのチジミ



具材によって
ふわふわにもカリカリにも

材料（大人２人分・幼児は大人の半分）
- 豆腐……２/３丁（２００ｇ）
- にら……１/2束（５０ｇ）
- にんじん…１/2本（７５ｇ）
- 卵……１個
- 片栗粉……３０ｇ　・薄力粉……７０ｇ
- ごま油……適量　・塩……小さじ1/２
- 白ごま……大さじ1　・水……1/2カップ

①Ａをボウルに入れて、豆腐をつぶすように良く混ぜる。
②にらは３ｃｍ幅、にんじんは千切りに切る。①に混ぜる。
③フライパンにごま油をひき、中火で両面こんがり焼いて出来上がり。

（調理時間：１５分）

・豆腐は、絹でも木綿でも作ることが出来ます。
・具材にチーズを入れるとカリカリに仕上がります。チーズを入れる場合は塩を減らして下さい。



愛光大和田保育園給食
Instagramはこちらから

子どもの発達や遊び・保育園で人気の給食レシピ
保育園で遊ぼう・育児講座・出前保育などの子育て情報を掲載

子育て情報誌

愛光大和田保育園 にこにこ

11月号



「よんで！」には理由がある
ー子どもの発達と絵本ー



年齢が変わると絵本の楽しみ方も変わります。子どもの成長にあわせた絵本の楽しみ方や選び方をお伝えします

社会福祉法人愛光学舎・愛光大和田保育園
- 本園（3~5歳児）
- 分園ちいさなおうち（0~2歳児）
- 分園アネックス（1~5歳児）
- 分園ステーション（1~5歳児）

Web Site

愛光大和田保育園の子育て支援 １１月の予定



保育園で遊ぼう！

保育園で一緒に遊びましょう、子どもの成長や入園後の生活を知る機会です（未就園児と保護者対象）

【内　容】園庭遊びや製作遊びなど
【日にち】１１月４日（水）１９日（木）
【時　間】１０:１５～１０:４５
【場　所】愛光大和田保育園アネックス

しあわせのたね

出産前や出産をお考えの方、その家族を対象に、保育園で園児と一緒に過ごして頂いたり、園の見学や、出産や育児相談などの受付けをしています。

【テーマ】１歳児クラスであそぼう
【日にち】１１月１７日（火）
【時　間】１０:１５～１１：００
【場　所】愛光大和田保育園ちいさなおうち

出前保育

親子広場に出向いて、親子で一緒に楽しめる遊びを行います。



【日にち】１１月１０日（火）
【時　間】１０：００～１１：００
【場　所】親子集いの広場大和田（こととことひろば）

よんで！には理由がある

～ 子どもの発達とともに広がる、絵本の楽しみ方 ～

子どもが「よんで！」と持ってくる絵本には、その時期ならではの発達や興味があります。絵本を通して、子どもの「今」を知るヒントにしてみませんか？



見る・聞く・感じるが楽しい 0～1歳

言葉が分からなくても、絵を見たり、大人の声を聞いたり、同じ音の繰り返しを楽しんでいます。大人と絵本を楽しむ時期です

- いないいないばぁ
  文:松谷みよこ　絵:瀬川康男
  出版社:童心社
- くだもの
  作:平山和子　出版社:福音館書店
- もこもこもこ
  作:谷川俊太郎　絵:元永定正
  出版社:文研出版

知ってる！あった！が楽しい 1～2歳

身近な物の名前が少しずつ分かり、指差しやまねっこも増えてきます。子どものが絵本の世界に「参加する」楽しさが増えてきます

- きんぎよが にげた
  作:五味太郎　出版社:福音館書店
- がたん ごとん がたんごとん
  作:安西水丸　出版社:福音館書店
- おつきさまこんばんは
  作:林明子　出版社:福音館書店

これ、ぼく・わたしと同じ！ 2～3歳

「自分でやりたい！」という気持ちが強くなる時期、毎日の生活や、自分と似た主人公が出てくるお話を身近に感じるようになります。絵本の出来事と生活がつながる時期です

- どうすればいいのかな？
  作:渡辺茂男　絵:大友康夫
  出版社:福音館書店
- しろくまちゃんのほっけーき
  作:わかやまけん　出版社:こぐま社
- おおきなかぶ
  作:A.トルストイ　訳:内田莉莎子
  画:佐藤忠良　出版社:福音館書店

このあとどうなる？が楽しい 3～4歳

想像する力が育ち、実際には見えない世界も楽しめるようになってきます。絵本の世界を自分の頭の中で広げてたのしめるようになります。

- もりのなか
  文・絵:マリー・ホール・エッツ
  訳:まさきるりこ　出版社:福音館書店
- ぐりとぐら
  作:中川李枝子　絵:大村百合子
  出版社:福音館書店
- へんしんトンネル
  作:あきやまただし　出版社:金の星社

登場人物の気持ちが楽しい 4～5歳

友達との関わりが増え、「自分とは違う気持ち」があることにも少しずつ気づいていきます。物語を楽しみながら人の気持ちや考えに触れていきます

- ともだちや
  作:内田麟太郎　絵:降矢なな
  出版社:偕成社
- 100かいだてのいえ
  作:いわいよしお　出版社:偕成社
- スイミー
  作:レオ・レオニ　訳:谷川俊太郎
  出版社:好学社

もっと知りたい！が広がる 5～6歳

興味のあることを、絵本や図鑑で調べることも楽しくなってきます。「好き」がさらに「知りたい！」へ実際に見たり。触ったり調べたりする経験にもつながります

- むしたちのうんどうかい
  作:得田之久　絵:久住卓也
  出版社:童心社
- 様々な図鑑類

年齢だけでなく今、この子は何に興味をもっているかな？そんな視点で絵本をえらんでみてください

同じ絵本を何度も「読んで！」と言ったり、途中でページをめくってしまったり。力の加減が出来ず破れてしまったり…そんな姿も、子どもにとっては大切な絵本との出会いです。

なにより「一緒に見てみようか！」と、大人も一緒に楽しむ時間を大切に。絵本の時間は、子どもの成長を支えるだけでなく、親子の心がつながる時間でもあります。